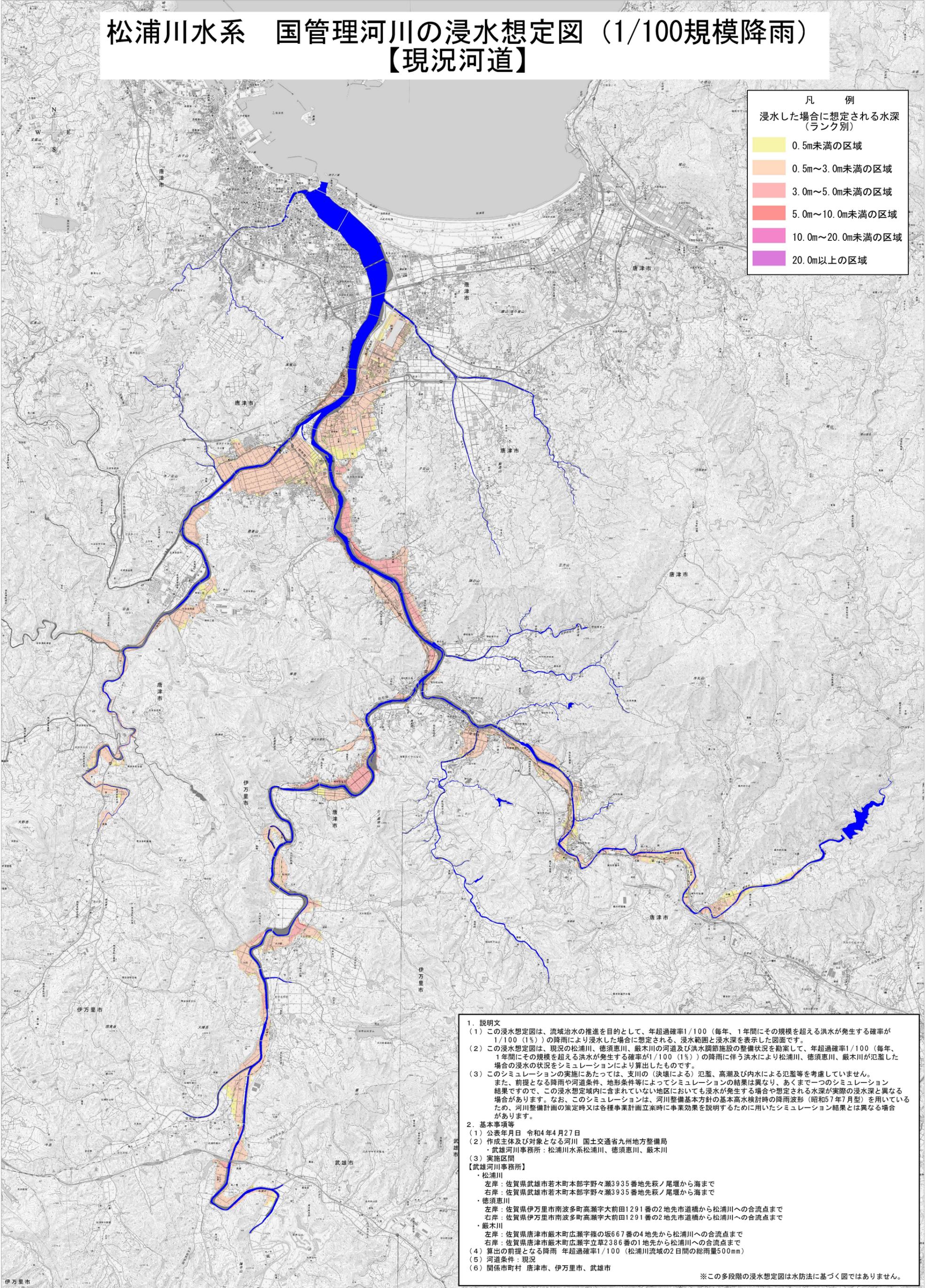


松浦川水系 国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨） 【現況河道】



| 凡 例 | |
|--------------------------|------------------|
| 浸水した場合に想定される水深 (ランク別) | |
| 0.5m未満の区域 | 0.5m未満の区域 |
| 0.5m～3.0m未満の区域 | 0.5m～3.0m未満の区域 |
| 3.0m～5.0m未満の区域 | 3.0m～5.0m未満の区域 |
| 5.0m～10.0m未満の区域 | 5.0m～10.0m未満の区域 |
| 10.0m～20.0m未満の区域 | 10.0m～20.0m未満の区域 |
| 20.0m以上の区域 | 20.0m以上の区域 |

1. 説明文
(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
(2) この浸水想定図は、現況の松浦川、徳須恵川、厳木川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により松浦川、徳須恵川、厳木川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和57年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果の説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和4年4月27日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・武雄河川事務所：松浦川水系松浦川、徳須恵川、厳木川
(3) 実施区間
【武雄河川事務所】
・松浦川
左岸：佐賀県武雄市若木町本部字野々瀬3935番地先萩ノ尾堰から海まで
右岸：佐賀県武雄市若木町本部字野々瀬3935番地先萩ノ尾堰から海まで
・徳須恵川
左岸：佐賀県伊万里市南波多町高瀬字大前田1291番の2地先市道橋から松浦川への合流点まで
右岸：佐賀県伊万里市南波多町高瀬字大前田1291番の2地先市道橋から松浦川への合流点まで
・厳木川
左岸：佐賀県唐津市厳木町広瀬字篠の坂667番の4地先から松浦川への合流点まで
右岸：佐賀県唐津市厳木町広瀬字立草2386番の1地先から松浦川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/100（松浦川流域の2日間の総雨量500mm）
(5) 河道条件：現況
(6) 関係市町村 唐津市、伊万里市、武雄市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。